

(様式 2)

令和 5 年 1 0 月 6 日

お 知 ら せ

(開催案内)

所属	岡山県備中県民局健康福祉部 井笠地域保健課 (備中保健所井笠支所)
担当	河辺・山本・澤井
電話	0 8 6 5 - 6 9 - 1 6 7 3 (直通)
発表クラブ	笠岡・井原

令和 5 年度 在宅医療・介護・福祉連携推進研修会を次のとおり開催します。

記

- 1 研修会名 令和 5 年度「医療・介護現場で ACP を考える
～在宅医療・介護・福祉連携推進研修会～」
- 2 目 的 コロナ禍では、患者および家族との ACP (人生会議：もしもの時に備えた話し合い) が不十分なまま、病状悪化の際の治療の選択など重大な決断を迫られる場面が多々発生した。地域住民が平素から、ACP を重ねておくことで、もしもの時にも患者や家族が真に望む医療を円滑に受けられ、穏やかなお別れも可能となる。医療機関や介護福祉施設の関係者に ACP の必要性を再認識していただくとともに ACP に取り組む契機とするための研修会を開催する。
- 3 日 時 令和 5 年 1 0 月 1 3 日 (金) 1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 3 0
- 4 場 所 笠岡市保健センター 大研修室 (ギャラクシーホール)
- 5 主 催 岡山県医師会
みんなで考える井笠の医療と介護 (事務局：備中保健所井笠支所)
- 6 参 加 者 管内医療・介護・福祉・行政に携わる方
「みんなで考える井笠の医療と介護」の委員 など
- 7 内 容 岡山県医師会移動会長室事業
講演 I 「いま何故 ACP が必要なのか」
講師 岡山県医師会 松山正春 会長
講演 II 「救急現場からの ACP を考える」
講師 岡山大学病院高度救命救急センター 中尾篤典 センター長
- 8 そ の 他 取材は、講演 II の内容に個人情報が含まれるため、講演 I まででお願いします。